

第65期事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(平成27年6月1日より平成28年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「自然科学書協会講演会2015」を開催した(文部科学省後援)。
 - ・日時:平成27年8月30日(日)15時00分~16時40分
 - ・会場:日本出版クラブ会館(東京都新宿区)
 - ・講師:池谷裕二氏(東京大学教授)
 - ・演題:「脳を知って、脳を活かす」
 - ・聴講者:144名
- 「サイエンスカフェ」を3回開催した。
 - ・平成27年6月20日(土)「土壌と私たち~土の声を聴け~」(大垣書店共催)
講師:矢内純太・京都府立大学教授、於 大垣書店イオンモール KYOTO 店
 - ・平成27年7月4日(土)「スポーツを脳科学する」(三省堂書店共催)
講師:荒巻勇・中京大学教授、於 Mike's Corner (名古屋市)
 - ・平成27年7月25日(土)『生まれ変わる動物園』その後」(大垣書店共催)
講師:田中正之・京都市動物園、於 大垣書店イオンモール KYOTO 店

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会(以下 書協)をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア2015」を開催した。
 - 期日:平成27年6月3日(水)~8月2日(日)
 - 会場:大垣書店イオンモール KYOTO 店
 - テーマ:科学立国日本を支える自然科学書の力
 - 参加社数:会員社42社 農業書9社
 - 出展点数:1,654点
 - 出品冊数:3,802冊
 - 売上:354点 619冊 1,306,293円
- 「第22回東京国際ブックフェア」(TIBF2015)を後援し、協会単独ブースを出展した。
 - 各分野別に展示したほか、「ビギナーにおすすめ、目で見えるサイエンス」の特別展示コーナーを設置した。また、購入者に抽選で図書カードをプレゼントした。
 - ・期日:平成27年7月1日(水)~4日(土)
 - ・会場:東京ビッグサイト西ホール

- ・参加社数：会員社 60 社＋非会員社 2 社
- ・出品冊数：2,460 冊
- ・総売上げ冊数：674 冊

○海外のブックフェアに出展し、会員社の出版物の普及を図った。

- ・「第 22 回北京国際図書展示会」(BIBF2015)

前年同様に 1 社 10 冊まで 1 冊 1,000 円の出品補助金を出し、普及促進を図った。出品冊数は 22 社・233 冊であった。BIBF 日本事務局（トーハン・東方書店）より 3 ブースが提供され、全点面陳で展示した。版權の問合せは 8 社であった。

- ・期日：2015 年 8 月 26 日（水）～30 日（日）

- ・会場：中国新国際展覽センター

- ・「第 67 回フランクフルトブックフェア」(FBF2015)

出版文化国際交流会の当協会・大学出版部協会の共同ブースに、会員社 17 社 44 点を出品した。

- ・期日：2015 年 10 月 14 日（水）～18 日（日）

- ・会場：フランクフルトメッセ

○英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権法における出版者の権利のあり方と、それに伴う専門書の出版契約書ひな形を作成した。また会員社への説明会を開催した。

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・デジタル化及びネットワーク化に伴う著作物の多様な利用に対応した著作権の保護、著作物の適正利用を推進するため、権利制限への動きに注意を払った。また、違法なスキャン代行行為への対応を協議した。
- ・科学技術分野における著作物の適正利用を推進する目的で「転載許諾に関するガイドライン 2008」の改訂作業を開始した。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・日本複製権センター（JRRC）との契約解除及び退会の諸手続きに協力した。
- ・JRRC との今後の協力関係及び JCOPY 組織改革についての協議に参加した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員各社から当該表彰候補を募った。応募者を推薦したが受章には至らなかった。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 18 回出版・印刷人の集い」に

出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

- ・日時：平成 27 年 11 月 17 日（火） 16：30～18：00
- ・会場：日本出版会館
- ・講師：星野 渉氏（株式会社文化通信社 常務取締役編集長）
- ・演題：「大阪屋、栗田問題からみる出版業界の今後 ～進む集中化と取引制度の変化」

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年 4 回発行した（平成 27 年 7 月，11 月，平成 28 年 1 月，4 月）。

・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各専門委員会の活動報告／出版業界関係者及び、自然科学各分野の著名人による「自然科学書協会に期待すること」／自然科学各分野の著名人によるエッセイ／講演会の要約／国際ブックフェアの報告など

・自然科学知識の普及，活動の告知，会員増強などのために，会報を日本出版クラブ会館ロビーなどで展示配布のほか，各関連団体へも送付した。平成 27 年 7 月号は東京国際ブックフェア会場（7 月 1 日～4 日，東京ビッグサイト）にて一般向けに 900 部配布した。

○ホームページを常に最新の状態にして，外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し，常に更新した。
- ・会報の PDF 版を掲載した。
- ・「自然科学書協会講演会 2015」の案内を掲載した。
- ・「東京国際ブックフェア 2015」「同 2016」の案内を掲載した。
- ・「自然科学書フェア 2015」「同 2016」とそれに関連したイベントの案内を掲載した。
- ・関連行事の内容をホームページの「ニュース・お知らせ」に掲載し，広く告知を図った。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○消費増税が 2015 年 10 月 1 日から 2017 年 4 月 1 日に延期されたことから，書協その他関連団体と連携しながら軽減税率適用を求める働きかけをした。しかし，現行の 8%にとどめる軽減税率の対象品目に新聞が含まれる一方，書籍・雑誌の結論は先送りされた。

なお，2016 年 5 月に，10%への引き上げが 2019 年 10 月に再延期されたことから，軽減税率適用問題と雑誌等の定期購読の課題と合わせて，消費増税への取組みの再構築が継続課題となる。

○出版業界で行う諸事業（全出版人大会の開催，出版平和堂の活動など）に協力した。

- ・平成 28 年 5 月 18 日（水）に，第 55 回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され協賛団体として協力した。

- ・平成 27 年 10 月 2 日（金）に，出版平和堂第 47 回出版功労者顕彰会が執り行われ，出版平和堂維持団体として運営に協力した。
- 今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし